

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 5 区分

【発行日】令和 2 年 4 月 30 日 (2020.4.30)

【公開番号】特開 2019-43310 (P2019-43310A)

【公開日】平成 31 年 3 月 22 日 (2019.3.22)

【年通号数】公開・登録公報 2019-011

【出願番号】特願 2017-167116 (P2017-167116)

【国際特許分類】

B 6 0 C 11/01 (2006.01)

B 6 0 C 11/13 (2006.01)

B 6 0 C 11/03 (2006.01)

【F I】

B 6 0 C 11/01 A

B 6 0 C 11/13 C

B 6 0 C 11/03 C

B 6 0 C 11/03 2 0 0 D

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 3 月 19 日 (2020.3.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

サイド部に設けられ、タイヤ周方向に延びる連通溝、及び、タイヤ幅方向に延びる横溝によって区画され、タイヤ周方向に並設される複数のショルダーブロックと、

前記サイド部に設けられ、前記複数のショルダーブロックに対してタイヤ径方向の内側に位置し、ショルダーブロックに沿ってタイヤ周方向に延びるリブと、

前記サイド部に設けられ、前記リブから前記タイヤ径方向の外側に延び、前記横溝内に位置する先端を有する突起と、
を備える、空気入りタイヤ。

【請求項 2】

前記突起は、前記横溝内への突出寸法が相違し、タイヤ周方向に交互に配置される第 1 突起と第 2 突起とからなる、請求項 1 に記載の空気入りタイヤ。

【請求項 3】

前記突起の前記タイヤ周方向の幅は、互いに隣接する 2 個の前記ショルダーブロック間の幅よりも狭い、請求項 1 に記載の空気入りタイヤ。

【請求項 4】

前記横溝の前記タイヤ周方向の幅は、前記突起の前記タイヤ周方向の幅よりも広い、請求項 1 に記載の空気入りタイヤ。

【請求項 5】

前記ショルダーブロックの少なくとも 1 個にサイブが形成されている、請求項 1 に記載の空気入りタイヤ。

【請求項 6】

前記横溝の底部からの前記突起の前記先端の高さは、前記横溝の前記底部からの前記ショルダーブロックの前記タイヤ径方向の高さよりも低い、請求項 1 に記載の空気入りタイヤ。

【請求項 7】

前記横溝は、

前記第 1 突起の前記先端が位置し、前記タイヤ周方向に第 1 の幅を有する第 1 横溝と、

前記第 2 突起の前記先端が位置し、前記タイヤ周方向に前記第 1 の幅とは異なる第 2 の幅を有する第 1 横溝と

を含む、請求項 2 に記載の空気入りタイヤ。

【請求項 8】

前記ショルダーブロックは前記タイヤ径方向に延びる側壁を有し、

前記突起はそれぞれ前記ショルダーブロックの前記側壁と向かい合い、前記タイヤ径方向に延びる側壁を有し、

前記突起の前記側壁の少なくとも一つと、前記ショルダーブロックの前記側壁の少なくとも一つとは、前記タイヤ幅方向から見たときに非平行である、請求項 1 に記載の空気入りタイヤ。

【請求項 9】

前記突起は前記タイヤ幅方向から見たときに前記先端がテーパ形状であり、

前記突起の前記先端は、前記タイヤ幅方向から見たときに狭まっている、請求項 8 に記載の空気入りタイヤ。

【請求項 10】

前記突起の幅は前記突起の先端に向かって狭まっている、請求項 1 に記載の空気入りタイヤ。

【請求項 11】

前記突起は先端に向かって前記横溝の底面に近づいていく傾斜面を含む、請求項 1 から 10 のいずれか 1 項に記載の空気入りタイヤ。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 2】

